

補助金公募実施結果

令和4年11月9日

経済産業省資源エネルギー庁 電力・ガス事業部電力産業・市場室・ガス市場整備室

事業名：令和4年度電気・ガス価格激変緩和対策事業

(採択事業者)

事業者名	法人番号	提案価格
株式会社博報堂	8010401024011	3,237,389,461,901

(提案事業者名)

- ①株式会社博報堂
- ②凸版印刷株式会社

(審査委員属性)

大学教授  
大学准教授  
弁護士

(評価コメント)

提案事業者名	コメント
株式会社博報堂	<p>・実施方法については、全体的に明確かつ具体的であり、その内容についても合理性が認められると考えられる。事業実施体制の記載も詳細であり、本事業を実施する上で支障が無い体制であると考えられる。また、コストパフォーマンスの面でも優れているものと思われる。</p> <p>・事業に関しての十分な検討・準備がなされていると感じた。過去の実績も十分にある。また、事業の流れが明確に示されているとともに、事業遂行における具体的な問題点にも言及し、過去の実績をもとにその解決策もある程度提示されている。事前のヒアリングや2段階審査などの工夫も見られる。過去の実績や事業のスピードを重視・評価するならば当該事業者のポテンシャルは高い。しかしながら、多くの事業者に参加していただくための配慮に対して若干の懸念がある。また、案件ごとに担当者が頻繁に変わる可能性がある。その他、情報管理・セキュリティに対する対策も十分であり、大規模なサイバー攻撃にもある程度耐える能力があると思われる。資料を見る限りではあるが、わかりやすさや見た目の良さ(ビジュアル)は素晴らしい。</p> <p>・本補助金は全小売り事業者(原料調整がないメニューのみ提供の小売り事業者も対象)が対象であり、補助金は小売り事業者を通して需要家に給付される。したがって、小売り事業者への補助金周知度の把握も難しくないため広告費の計上および情報伝達コストは過大である可能性がある。また、インフルエンサーを通じての国民に対する広告が必要であるかどうか(インフルエンサーの視聴者の年齢層も限定的、ただし補助金適用のメニューが限定的であるならば一部必要)、需要家向けコールセンターの規模(補助金適用メニューが限定的でないならば)は疑問である。「システム改修」に関する実施方法は具体性に欠ける。不正や与信管理など考慮されている点、類似事業に関するこれまでの実績はプラスに評価される。</p>